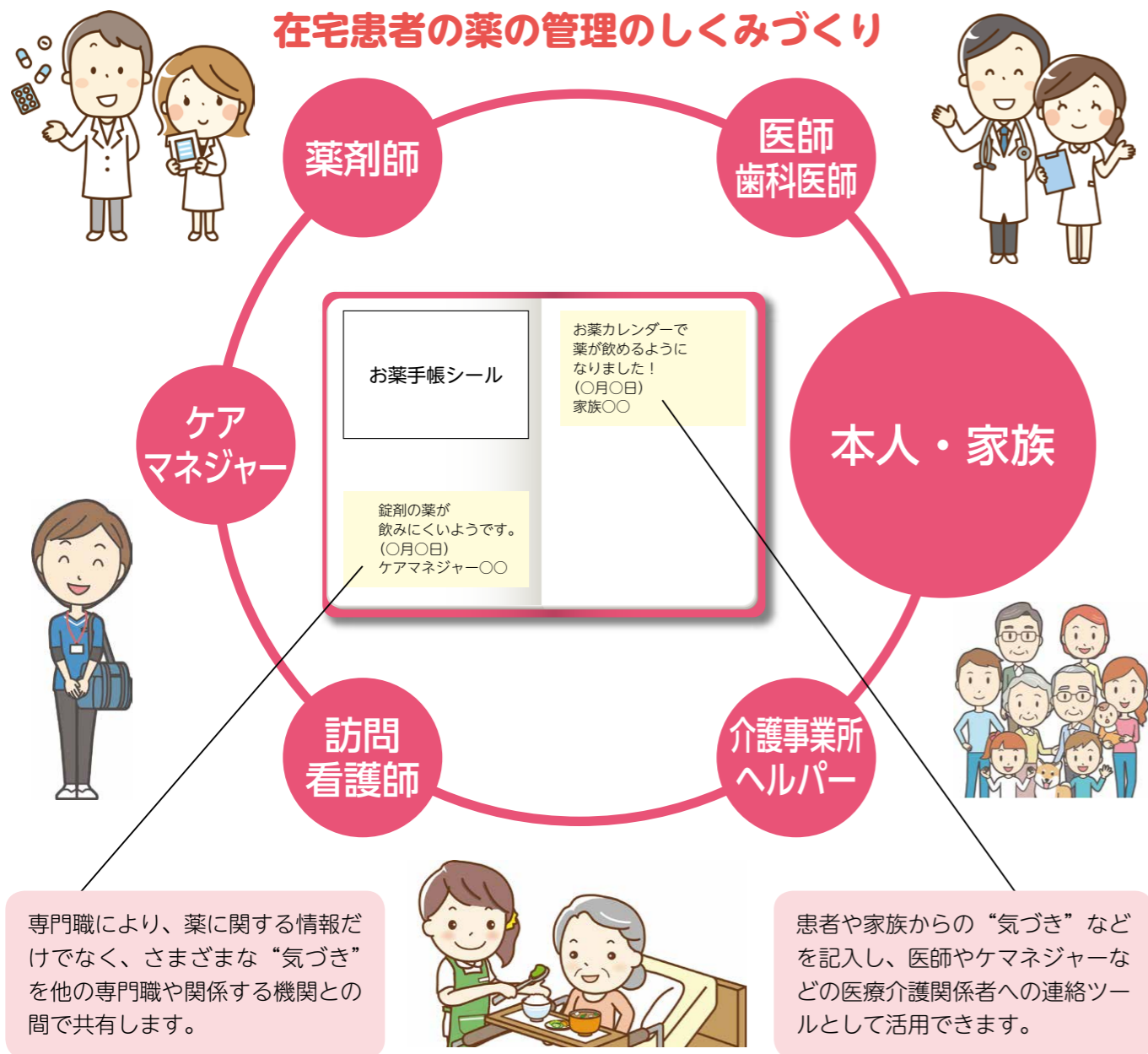


「伊賀のくすり帖」を活用した 支援が必要な 在宅患者へのサポート事業

～住み慣れた我が家で安心して暮らし続けるために～



取り組みの概要

皆さんが病気などで支援が必要になったとしても、住み慣れた我が家で安心して暮らしていける取り組みの一つとして、医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー・訪問リハビリ・社会福祉法人などの専門職と市が連携し、患者やその家族もネットワークの一員となった、「お薬手帳を活用した在宅患者の薬の管理のしくみづくり」をすすめています。

在宅で医療を受ける皆さんをサポートするため、現在「伊賀市オリジナルお薬手帳カバー」の配布と合わせて、患者の緊急連絡先や、医療や介護の事業所名、専門職による気づきのメモなどが記入できる「情報カード」をお薬手帳カバーに入れる取り組みを行っています。

また、専門職間で患者の情報を共有するための「多職種連携のための連絡票」を作成し、さらなるサポートにつながる取り組みもすすめています。

お薬手帳はいつも携帯！

お薬手帳は、患者をサポートするための大切な情報です。

この取り組みをより良いものにするためにも、お薬手帳は1冊にまとめ、アレルギーや薬による副作用があれば記入し、病院や診療所を受診する時はもちろん、普段外出する時にも携帯してください。

お薬手帳を提示しましょう！

市民の皆さんをはじめ、医療や福祉・介護に携わる専門職の皆さんなど、オール伊賀市での取り組みにより、お薬手帳の1冊化がすすんできました。

お薬手帳は、処方された薬の記録と合わせて、お薬手帳に記入された専門職によるアドバイスや情報カードを基に、医療や福祉、介護の関係者で情報を共有することで、より良い支援につなげることが出来ます。

病院や診療所、薬局へ行った際にはお薬手帳を忘れずに提示しましょう。

**お薬手帳が
あなたを守ってくれます**



▲左から、伊賀医師会 紀平副会長、猪木会長、清水副会長

今回、伊賀市オリジナルお薬手帳カバー「伊賀のくすり帖」のカラーが黒色から緑色にマイナーチェンジしました。初代のお薬手帳カバーに比べ内ポケットの数が増え、受診時に必要なものを1冊にまとめやすくなりました。患者さんの情報カードの内容も改良を考えています。お薬手帳はより良い診療の手助けになりますので、受診時には必ず提出してください。

伊賀市オリジナルお薬手帳カバー

この「伊賀のくすり帖」には、ケアマネジャーの名刺や家族の連絡先を書いたメモなどを入れるためのポケットがあり、裏面には相談窓口の連絡先などが記載されています。ぜひ活用ください。

お薬手帳カバーに入れるもの

- お薬手帳
- カード型健康保険証、診察券
- 情報カード
- (緊急連絡先や関わりのある医療・介護事業所名などを記載したもの) など



上：これまでのお薬手帳カバー
下：リニューアルしたお薬手帳カバー

【問い合わせ】

医療福祉政策課
☎ 22・9705 FAX 22・9673
✉ iyoufukush@city.iga.lg.jp